

< 編集後記 >



【わが村運動情報】

◎岩見沢農業高校・帯広農業高校で『景観ワークショップ』を開催しました！

「わが村は美しく－北海道」運動では、次世代を担う高校生に、地域の貴重な資源である農村景観への理解を深めてもらうことを目的に、10月6日、22日に岩見沢農業高校で、12月4日、5日に帯広農業高校で、農業土木工学科2年生の生徒67名（岩農34名、帯農33名）を対象に令和7年度『景観ワークショップ』を開催しました。

『景観ワークショップ』では、それぞれ「私たちの選ぶ空知の〇〇〇景観」「私たちの選ぶ十勝の〇〇〇景観」（〇〇〇には生徒がテーマにふさわしい言葉を選択）をテーマに、生徒たちは事前に撮影した景観写真などをもとに、地域らしい農村景観とは何かを話し合い、その成果を発表しました。



このワークショップを通じて、自分たちの身近な景観の素晴らしさに気づくきっかけになれば幸いです。

◎広報誌「開発こうほう」 1月号の掲載情報

（一財）北海道開発協会が毎月発行している広報誌「開発こうほう」には、「わが村は美しくー北海道」運動コンクールの受賞団体が毎号紹介されています。1月号では第6回コンクールで優秀賞を受賞した「**白滝じゃが生産部会 ジャガリンズ**（旧名：白滝じゃが生産部会 加工班）」（**遠軽町**）について紹介されています。

広報誌「開発こうほう」は（一財）北海道開発協会のHPよりご覧いただけますので、「わが村は美しくー北海道 未来へつなぐ」のページをぜひご一読ください↓

<https://www.hkk.or.jp/kouhou/>

「**白滝じゃが生産部会 ジャガリンズ**」については、わが村HPでもご紹介しております↓

<http://wagamura-net.jp/contest/06/dantai1/6139.html>

【わが村コラム(No.62)】

今回ご紹介するのは、「**NPO法人 サロベツ・エコ・ネットワーク**」（豊富町）（第6回コンクール奨励賞受賞団体）とツアーコンサルタントが共同で開催する『**サロベツ湿原バックヤードツアー**』です。

当NPO法人は、サロベツ及び周辺自然環境の保全活動等を通じてサロベツ及び周辺の豊かで美しい自然を次世代に引き継ぐことを目的として地域に根ざした活動を続けています。

その活動の一環として、『サロベツ湿原バックヤードツアー』は、平成22年から行われており、現在は、5、6月頃～10月の期間で月2回、土日で開催しています。1回あたりの募集定員は10名、参加費用はなんと！無料となっています。

このツアーは、利尻礼文サロベツ国立公



園内で普段は立入ることができない区域の中をガイドの案内で過去に湿原調査などで使用していた『調査用木道』を歩いて回るもので、湿原での季節の植物や野鳥の観察のほか、S45～H14まで



土壌改良材等の資材として使用していた泥炭の採掘跡地を訪れ、その近くで湿原の植生を回復させるためのネット張り作業が体験できるなど、サロベツの自然を再生させる事業の手伝いもできる希少なツアー内容となっています。



10月4日(土)開催のツアーに興味津々で筆者も参加し、当日は9時30分にサロベツ湿原センターに集合し、ツアーがスタート！ガイドの方から当時の泥炭採掘の歴史や湿原植物の観察などの説明を聞きながら、細い調査用木道を片道約1時間～1時間30分程度歩き、最終目的地の泥炭採掘跡地を目指します。



ツアー出発前には、参加者の皆さんからそれぞれ簡単な自己紹介があり、今回は稚内市、豊富町、幌延町からゲストハウス経営者、会社員、学生など様々な職種の方が参加していました。初めて参加される方からは「このツアーに興味があり、やっと参加できてうれ

しい！」との声も聞かれ、ツアーの人気の高さが分かりました。

サロベツ湿原は、季節によって生育する湿原植物も異なるらしいので、このツアーに季節ごとに参加するのも楽しいかもしれません。

ツアーの途中には、泥炭採掘時に使用していたパイプラインがそのまま存置されており、興味深く見ることができました。この



パイプラインは、泥炭採掘船で掘削した泥炭を泥炭工場へ圧送する際に使用されていたものだそうです。

約1時間30分歩き、泥炭採掘跡地と湿原の植生を回復させるためのネット張りの作業地点近くに到着しました。ネット張りの作業地点までは、調査用木道から外れて湿原内に入り徒歩で移動します。

ネット張り作業では、事前にガイドの方から使用するネットについて説明があり、有識

者や環境省職員らで検討を重ね、材質や編み目の大きさなど複数用意し、数年かけて実証実験を行って決定したとのことでした。また、作業地周辺は出発地点の湿原センター付近とは異なり、泥炭層が非常に厚く、足が埋まる可能性があるので注意して移動するようにとの助言もありました。



実際、湿原内の泥炭の上を歩いてみると、まるでトランポリンの上を歩いているような、これまでに感じたことのない不思議な感覚を体で感じることができました。

そして、いよいよネット張りの作業体験です。調査用木道から2～3分程度移動した後、2班に分かれてネット張りを行いました。周囲を見渡すと、これまでに張ったネットから植生が回復していることも確認できました。

最後に泥炭採掘跡地の見学です。跡地には

降雨などの水が溜まり、まるで湖のような景色に参加者から何とも言えない声があがりました。



その後は、往路と同じ調査用木道を歩きながら出発地点に戻ります。そのころになると、参加者全員と親しくなり、湿原植物のことや今回のツアーの感想等を話しながら歩き12時頃に出発地点に到着しツアーは終了しました。

今回、初めて本ツアーに参加し、普段立ち入ることができないサロベツ湿原の中へ入り、湿原の保全と自然再生の必要性をはじめ、地道な自然再生の取組を目の当たりにして、とても貴重な体験ができました。

『サロベツ湿原バックヤードツアー』はたいへん人気があり、すぐに定員に達するため早めの予約が必要ですが、季節ごとの湿原の中の様子を直に見ることができるなど、とても楽しいツアーですので春から秋にかけて宗谷方面に来る機会がありましたら、ぜひ参加してみてくださいはいかがでしょうか。

来年度の開催予定はまだ決まっていますが、当NPO法人のHPでは団体紹介や活動紹介のほか、随時、イベント情報なども掲載されますので、是非こちら↓よりご確認ください。

◇◆ NPO法人 サロベツ・エコ・ネットワーク ◆◇

【HP】 <http://sarobetsu.or.jp/> 【お問合せ】 TEL：0162-82-3950

【わが村団体活動情報】

◎『農家のかあさん土曜日』開催！！（江別市）

<わが村団体名：江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会加工部会>

ケチャップ、チーズ、漬物、おこわ、お菓子など、農家のかあさんたちの愛情がこもった手作り農畜産物加工品が大集合する毎年恒例の冬のイベント「農家のかあさん土曜日」を今年も開催しています！

会場では、農家のかあさんたちに直接会える対面販売のほか、昨年に引き続き、開催当日のお買い物でスタンプを3つ集めて応募すると、抽選で加工品などの賞品が当たるプレゼント企画も行います。

マイバッグを持参し、会場のかあさんたちに会いに来てください。

【開催日時】 令和8年1月17日（土）

10:00～14:00

※今回を含めて3月まで、あと4回開催予定

【開催場所】 江別河川防災ステーション（江別市大川通6）

【お問合せ】 江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会加工部会

TEL：011-381-1025（事務局：江別市役所経済部農業振興課内）

【HP】 <https://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/soshiki/nogyo/145290.html>

◎『いきいき母さん土曜日』開催！！（岩見沢市）

<わが村団体名：いきいき母さん土曜日運営委員会>

今年も11月から3月までの毎月第3土曜日に『いきいき母さん土曜日』を開催しています！



越冬野菜や農産加工品はもちろんのこと、農家の母さんが焼いたパンや焼き菓子など、土曜市でしか出会えないものが大集合！

これからの毎月第3土曜日、「いきいき母さん」が皆さまの来場をお待ちしています♪

【開催日時】 令和8年1月17日（土）

10:00～14:00

※今回を含めて3月まで、あと3回開催予定

【開催場所】 イオン岩見沢店食品売り場入り口
（北口）（岩見沢市大和4条8-1）

【お問合せ】 いきいき母さん土曜市運営委員会

TEL：090-8275-7269

【Facebook】 https://www.facebook.com/profile.php?id=100054019136027&locale=mt_MT



◎北方領土を間近に望む 本土最東端パノラマ・クルーズ！（根室市）

＜わが村団体名：歯舞地区マリンビジョン協議会＞

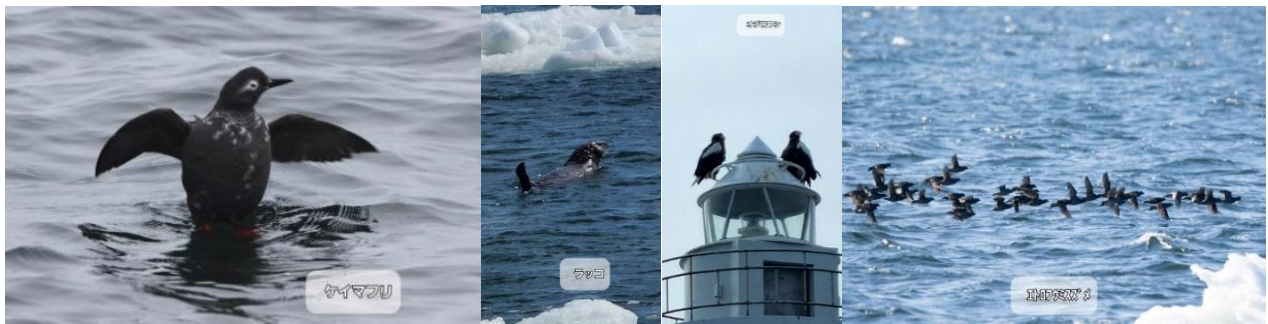
歯舞地区マリンビジョン協議会では、漁業振興と都市漁村交流などの取組を行っており、その一環として冬季のクルージングを実施しています。

納沙布岬からわずか3.7km先は北方領土の貝殻島灯台。クルーズ船は歯舞漁港を出発し、その半分の1.85kmまでしか近づくことはできませんが、周辺海域は日本でも有数の海鳥飛来地であり、機会が合えばクジラ、ラッコ、アザラシ、イルカなどにも出会える可能性があります。

陸地からでは味わえない新たな風景を求めて乗船し



てみてはいかがでしょうか。



【開催期間】 令和7年11月1日～令和8年4月30日（前日までの予約制）

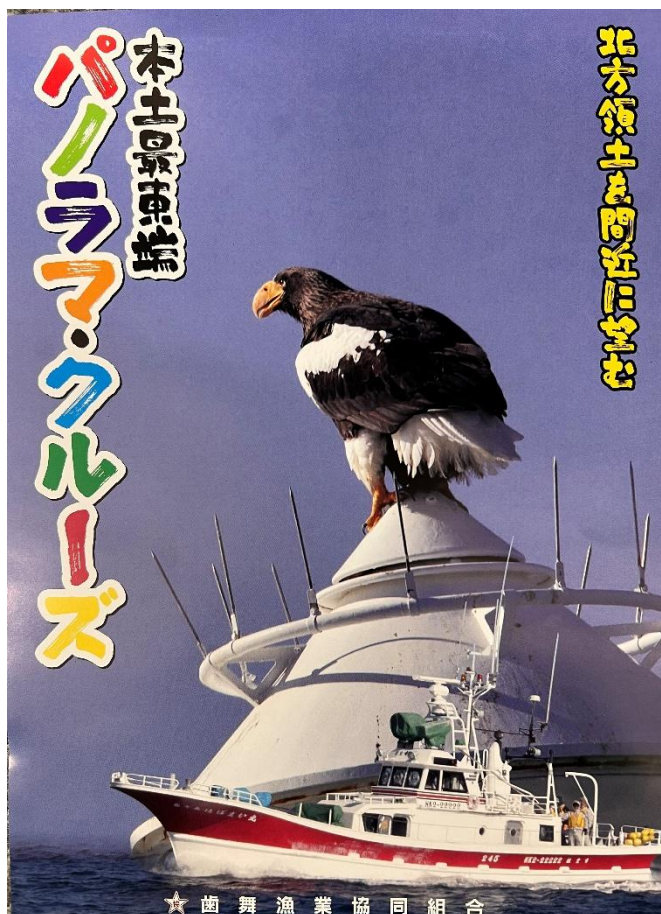
【出港時間】 ①9:30 ②12:00（所要時間約2時間）

【乗船予約・お問合せ】 TEL: 0153-28-2124

歯舞漁業協同組合 指導部・遊覧船係（根室市歯舞4-132-2）

受付時間：9時～17時（月～金曜日）

【HP】 <https://habomai-jf.jp/taiken.html>（歯舞漁業協同組合）



定員 12名 船内休憩室・トイレ完備 船員2名が同乗いたします。

ルート
歯舞漁港→納沙布岬・貝殻島灯台中間点→歯舞漁港

運航
期間：毎年11月1日～翌年4月30日
●前日までの予約制（3名に満たない時は運航を中止する場合もあります）

①出港09:30 入港11:30（予定）
②出港12:00 入港14:00（予定）
※期間を過ぎ、運航時間はご相談に応じます（要予約）。
天候等の事情により、出港後であっても、航路の変更又は運航の中止をする場合があります。
ご予約を受けましても、漁業関係その他の事情により、運航を中止し、又は航路を変更する場合がありますので、予めご了承ください。

この海域で見られそうな海鳥・哺乳類リスト

・ミンクジラ	・ゼニガタアザラシ	・ウミウ	・コオリガモ	・オオセグロカモメ
・カマイルカ	・オオワシ	・ヒメウ	・クロガモ	・シロカモメ
・イシイルカ	・オシロワシ	・シノリガモ	・ホシロガモ	・ウシカモメ

料金
大人 7,000円 小・中学生 3,000円（保護者同伴） ※10人以上の団体乗船については **10%割引**

チケットの予約・販売・乗船受付・待合場所
北海道根室市歯舞4-132-2
歯舞漁業協同組合
指導部・遊覧船係
TEL 0153-28-2124
受付時間：9時～17時（月～金曜日）

アクセス
JR花咲線根室駅前バスターミナルより、乗客交通「納沙布線」のバスで約30分、バス停より徒歩約5分。

乗船について
安全確保のため未成年児童・車イスの方は乗船出来ませんが、身体に障害のある方は乗船できる場合がありますので事前にご相談下さい。
可燃物、ハサミ・ナイフ・カッター等の刃物、銃火薬類等の危険物、貴重品等の貴重品やペットの持ち込み及び保管はお断り致します。気分が悪くなった場合は船内の休憩室（5名程度）にてお休みください。

◎恒例の『ほんべつ豆まかナイト』を開催します！！（本別町）

<わが村団体名：ほんべつ豆まかナイト実行委員会>

本別町の特産品である「豆」をテーマに、日本一の豆のまちにふさわしい、熱く激しい節分イベント『ほんべつ豆まかナイト2026』を開催します。

今回も使用される豆の総量は2.5t超！全国でも珍しい大型豆まきイベントです。

地元の小学生たちが収穫体験で一粒ずつ大切に用意してくれた豆が、「豆浴び」や「豆スライダー」となって会場を埋め尽くします。

メインの「“激”豆まき」に加え、本別産ブランド餡「稀（まれ）」のおやきや黒豆サイダーで競う「秒速グルメバトル」も開催！

寒さを吹き飛ばす熱気あふれる本別町で、一年の福を呼び込みませんか？

皆様のご来場をお待ちしています！



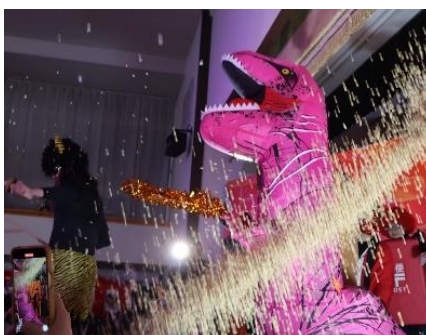
【開催日時】 令和8年1月24日（土） 12：00～18：00（キッチンカーは11：00～）

【開催場所】 本別町体育館（本別町北2丁目4-2）

【お問合せ】 本別町商工会 TEL：0156-22-2529

【HP】 <https://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/sightseeing/fes/details/mamemakanight.html>

【Facebook】 <https://www.facebook.com/honbetsu.mamemaka>



【活動支援メニュー】

○令和８年度（前期）「わが村運動活動助成」の実施（予定）

（NPO法人 わが村は美しく－北海道ネットワーク）

NPO法人 わが村は美しく－北海道ネットワークでは、北海道開発局と連携し「わが村は美しく－北海道」運動を推進しており、その参加団体の活動支援を行っています。

その活動支援の一つとして助成事業を実施しており、令和８年度（前期）の助成の募集を１月より予定しています。

助成事業の詳細については、当NPO法人のHPによりご確認ください。

「わが村は美しく－北海道」運動は地域で頑張る皆さまを応援しています。

【助成募集期間（R8前期）】令和８年１月上旬～令和８年６月末まで（予定）

【助成額】１団体当たり１件、１０万円を限度として、選考により予算の範囲内で助成

【HP】 <http://wagamura-net.jp/>

○令和８年度 地域活性化活動助成の募集（予定） （一般財団法人 北海道開発協会）

一般財団法人 北海道開発協会では、「地方版総合戦略」と新たな北海道総合開発計画の推進に寄与する地域づくりを支援するため、北海道内の地域の活性化に資する民間主体の活動や取組に対して助成を行っており、例年２月～４月を助成募集期間としています。

令和８年度の「地域活性化活動助成」の詳細については、募集開始時に当協会HPに掲載される予定ですので、HPよりご確認ください。

【助成募集（申請）期間】例年２月～４月中旬頃（予定）

【HP】 <https://www.hkk.or.jp/kenkyusho/chiiki.html>

○農山漁村の案内に役立つ「便利帳」（北海道農政部）

北海道農政部では、農山漁村において旅行者を受け入れる地域の活性化に資する取り組みを積極的に推進するため、案内等に当たっての留意点や参考となる情報を紹介する「便利帳」を作成しています。詳細は、北海道農政部ＨＰをご覧ください。

【Ｈ Ｐ】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/ski/gt/benricyou.html>

○地域を応援するマンスリーレター（北海道経済部）

北海道経済部にて毎月発行している「地域を応援するマンスリーレター」では地域の皆さんが活用できる支援メニューなどタイムリーな情報をお届けしています。詳細は、北海道経済部ＨＰをご覧ください。

【Ｈ Ｐ】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/a0004/b0002/>

・北海道どさんこプラザ・テスト販売品の募集について

どさんこプラザ・テスト販売制度は、販路拡大・商品開発などに取り組む道内企業の方々を応援するための制度で、新商品を３ヶ月間「どさんこプラザ」で販売し、その過程で得られた情報をマーケティング活動に役立てていただくことを目的としています。

売上が好調な商品はさらに３か月継続して販売し、販売期間終了後には、店から商品の評判や評価などのアドバイスが受けられるほか、定番商品化へ移行のチャンスもあります。

【募集期間】（Ｒ８年度開催予定分 テスト販売期間：第１四半期（Ｒ８．４月～６月））

令和８年１月４日 ～ 令和８年２月１０日

【お問合せ】北海道経済部食関連産業局食産業振興課 マーケティング係

ＴＥＬ ０１１－２０４－５７６６

【Ｈ Ｐ】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/sss/marke/103176.html>

○活動支援情報（花と緑のネットワークHP）

環境保全や地域づくり活動に活用できる助成・支援制度などの情報が掲載されていますので、ご参考まで↓

【H P】 https://www.sapporo-park.or.jp/flowers/support/support_system/

< 編集後記 >

明けましておめでとうございます。 本年もどうぞよろしくお願いいたします。

執筆時点の今は12月中旬。今年の年末年始は、まとまった時間を使って「AIの勉強」をしよう
と計画しています。 普段は目の前の業務に追われて、新しい技術を学ぶのをどうしても後回しに
してしまいがちです。だからこそ、この連休は静かな環境で腰を据えて、話題のツールをあれこ
れ試してみるつもりです。皆様がこれを読まれている頃、私のスキルが少しでもアップデートさ
れて、大事なことにより時間を使えるようになっていればと思います。

新しい知識に触れるのは、いくつになっても刺激的ですね。 寒さはこれからが本番です。暖か
くして体調を崩されませんよう、ご自愛ください。皆様にとって、発見と喜びに満ちた一年にな
りますようお祈り申し上げます。

発行：北海道開発局農業水産部農業振興課

〒060-8511 札幌市北区北8条西2丁目 札幌第1合同庁舎13階
↓わが村HPはこちらをご覧ください。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g7000000emhm.html

↓Facebookでも情報配信しています。

<https://www.facebook.com/wagamura>

お知り合いの方にも、ご紹介お願いします！

本メールマガジンは送信専用アドレスで配信しています。

配信希望・ご意見・ご感想はこちら hkd-ky-wagamura.u@gxb.mlit.go.jp

（配信希望の方は、所属先（所在地）、氏名、メールアドレスを明記の上、こちらへ↑ご送付ください）

※一部ホームページではInternet Explorerに対応していないものがありますので、

Microsoft Edge等を使用して接続してください。
